

福井県の文化振興に関するデータ集

○論点1-1（芸術文化活動の担い手の育成）関係	
【資料 1】 本県の各芸術文化分野の現状	P 1
【資料 2】 芸術文化団体が高校部活動等に関与している主な事例	5
【資料 3】 芸術文化活動の開始時期や技術レベルの向上時期等に関する部活動指導等に携わる教員や実際の活動者の意見等	5
【資料 4】 若手芸術家の育成に関する現役の芸術家や芸術家を目指す若手、指導者の意見等	7
【資料 5】 指導者を招へいしての技術向上セミナー等	8
【資料 6】 県、拠点施設、市町、文化芸術団体等が実施する、よりレベルの高い発表機会、コンクール等の実施状況	10
【資料 7】 海外留学、コンクール等への参加に対する支援制度	11
【資料 8】 県内の芸術系の学科、コース等を有する教育施設等の状況	11
【資料 9】 中学校・高等学校における文化部所属生徒数	12
【資料10】 小・中学校、高等学校文化部の全国大会での活躍の状況	12
【資料11】 子ども期における鑑賞経験の必要性	13
【資料12】 県、市町が提供する子どもを対象とした主な音楽・美術分野の鑑賞機会	14
【資料13】 県立音楽堂および県立美術館における子どもの来館者数	15
【資料14】 ちびっこコンサート来場者等からの意見集約	15
○論点1-2（県民が芸術文化に親しむことができる環境の充実）関係	
【資料 1】 芸術文化に関する情報のわかりやすさ・入手の容易さに関する意見等	16
【資料 2】 芸術文化鑑賞の上で支障となっている事項	16
【資料 3】 活動したいが、できない理由	16
【資料 4】 芸術文化に関する情報の入手方法	17
【資料 5】 芸術文化に関して入手したい情報の種類	17
【資料 6】 県内の主な文化施設、団体等における情報提供の内容	18
【資料 7】 県立の文化施設における企画展または自主公演の開催状況と来場者数	19
【資料 8】 館蔵品による常設展、テーマ展等の開催状況	19
【資料 9】 県立の文化施設における講座、講演、展示解説等の教育普及の取組状況	20
【資料10】 その他県立の文化施設における入館者、利用者数増加に向けた取組状況	21
○論点2-1（文化財の評価を高めるための方策）関係	
【資料 1】 国宝・重要文化財の都道府県別指定件数一覧	23
【資料 2】 福井県内の国指定・県指定等文化財	28
【資料 3】 北陸3県における近年の文化財指定状況	29

論点 1	ふくいの芸術文化の振興
1-1	芸術文化活動の担い手の育成

【資料1】本県の各芸術文化分野の現状（平成20年7～8月調査）

芸術文化団体、高等学校文化連盟等の代表者、役員、芸術文化活動の活動者、部活動指導に携る現場の教員等からの聴き取り調査結果からとりまとめ

分野 (活動者数)	県域レベルで活動する組織・団体と活動者数(*)		中学校、高校における部活動の参加状況		活動傾向、課題等
	団体数	活動者数	中学校	高等学校	
美術 約 2,940 人	40 前後	約 1,200 人	1,053 人 (48 校)	688 人 (36 校)	<ul style="list-style-type: none"> 退職者や時間的余裕ができた中高年層の活動開始が多く、高齢化がやや進展 進学、就職を契機とした活動停止が多く、部活動から社会人の活動へのつながりは薄い。 コンクール、展覧会等が活動のモチベーション向上につながっている。 昔あった街角のギャラリーや画廊が少なくなった。 若手活動者が気軽に作品発表ができる場が不足しており、こうした場が求められている。
書道 約 3,160 人	16	2,800 人余	26 人 (4 校)	331 人 (27 校)	<ul style="list-style-type: none"> 中学・高校への進学を契機とした活動停止が多く、子ども期の活動から社会人の活動へのつながりは薄い。 競書大会、公募展等が活動のモチベーション向上につながっている。 小規模団体単独の展覧会は広報・宣伝力不足もあり、来場者が少ない。県美展、県書作家協会等主催の展覧会は来場者が多い。
音楽 約 7,810 人	約 230	約 7,580 人	0 人 (2,965 人)	231 人 (1,649 人)	
洋楽（吹奏楽、弦楽等） 約 4,500 人	135	約 4,400 人	(2,615 人) (59 校) ※左記の内数	(1,264 人) (28 校) ※左記の内数	<ul style="list-style-type: none"> 中、高校生の部活動参加者は増加傾向 社会人になってからも活動を継続している場合も多く、世代交代も順調に行っている。 吹奏楽コンクール、アンサンブルコンテスト等が活動のモチベーション向上につながっている。
合唱 約 930 人	54	約 930 人	(337 人) (17 校) ※左記の内数	(202 人) (18 校) ※左記の内数	<ul style="list-style-type: none"> 進学、就職を契機とした活動停止が多く、部活動から社会人の活動へのつながりは薄い。 若年層の参加が少ないのに対して、退職者等の新たな参加が多く、高齢化が進んでいる。 中学生対象の講習会（県合唱連盟）など部活動を社会人の参加につなげるための働きかけに努力している 合唱祭、合唱コンクール等が活動のモチベーション向上につながっている。 小規模団体の単独公演は来場者が見込めず開催困難であり、県連盟主催の合唱祭や合唱ふれあいフェスティバル等の合同開催が求められている。

教育・文化ふくい創造会議（第三次会議：第1回）

マーチング バトン 約 850 人	27	約 850 人	(13 人) (1 校) ※左記の内数	(48 人) (1 校) ※左記の内数	<ul style="list-style-type: none"> 活動者数は増加傾向であるが、指導者不足、練習場不足等の活動環境整備が大きな課題 アートセッション等の発表機会が活動のモチベーション向上につながっている。
邦楽 約 1,530 人	20 弱	約 1,400 人	-人 (-校)	135 人 (12 校)	<ul style="list-style-type: none"> 若年層の参加がほとんどなく高齢化が進んでいる。 公演等の発表機会が活動のモチベーション向上につながっている。 小規模団体の単独公演は困難であり、より多くの合同公演が求められている。
芸能 約 6,600 人	約 50	約 6,370 人	17 人	210 人	
能楽 約 2,100 人	4	約 2,100 人	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 若年層の参加はほとんどなく高齢化が進んでいる。 後継者づくりのため県連盟や個別団体が子ども対象の体験活動や未経験社会人対象の講座等に尽力している。 能楽の祭典等の発表機会が活動のモチベーション向上につながっている。
日本舞踊 約 600 人	20 弱	約 600 人	1人 (1校)	-	<ul style="list-style-type: none"> 親の活動が子に引き継がれることが少なくなるなど若年層の参加が減少し、高齢化が進んでいる。 日本舞踊の祭典等の発表機会が活動のモチベーション向上につながっている。 小規模団体は公民館等小規模会場での公演が実態。合同開催により、大会場で多数の来場者による、より多くの公演が求められている。
洋舞 約 280 人	10	約 250 人	-	26 人 (3 校)	<ul style="list-style-type: none"> モダンダンスへの若年層の参加増もあり、高齢化の問題はない。 ふれあい洋舞フェスティバル等の発表機会が活動のモチベーション向上につながっている。 小規模団体の単独公演は困難。県連盟主催の公演のような合同公演が求められる。
民謡民舞 約 650 人	-	約 650 人	-	-	<ul style="list-style-type: none"> すでに高齢化しており、新たな参加者はほとんど高齢者。若年層の参加が求められる。 民謡・民舞・民踊ふれあいフェスティバル等の発表機会が活動のモチベーション向上につながっている。 団体単独の公演は困難。県の助成による民謡・民舞・民踊ふれあいフェスティバルのような合同開催がもう少しあるとよい。

吟詠 約 1,300 人	3	約 1,300 人	—	4 人 (3 校)	<ul style="list-style-type: none"> 活動者数は昭和 4、50 年代がピーク。その後新たな参加者は少なく、高齢化が進んでいる。 吟詠剣詩舞の祭典、県吟士権者大会等が活動のモチベーション向上につながっている。 小規模団体の単独公演は困難。団体合同の発表機会が、もう少しあってもよい。
剣詩舞 約 1,300 人	5	約 1,300 人	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 小・中学生の活動は進学を契機に停止し、社会人の活動につながっていない。 若年層の参加が少なく、高齢化が進んでいる。 吟詠剣詩舞等の発表の機会が活動のモチベーション向上につながっている。
演劇 約 360 人	13	167 人	16 人 (2 校)	180 人 (22 校)	<ul style="list-style-type: none"> どの団体も慢性的な団員不足。若年層の参加が少なく、将来高齢化が進展することは明らか。 演劇ふれあいフェスティバル等の発表機会が活動のモチベーション向上につながっている。
文芸 約 2,960 人	約 150	約 2,680	82 人	194 人	—
短歌	4	約 210 人	82 人 (12 校)	194 人 (16 校)	<ul style="list-style-type: none"> 新たな活動参加が少なく、活動者数はここ 5 年間で 2 割減。 新たな参加者は定年退職者がほとんどで、高齢化が進んでいる。 指導者になるのに年数を要する。後継者育成のためにも若年層の参加が求められる。 短歌大会への参加等が活動のモチベーション向上につながっている。
詩	6~7 の 同人誌 県域団体 1	65 人前後	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 県内同人誌のすべてが県連盟の詩人懇話会に参画しているのが特徴。 新たな参加者が少ない中で、活動者は固定し、高齢化が進んでいる。 全国公募への参加等が活動のモチベーション向上につながっている。
俳句	110 前後	約 2,000 人	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 若年層の参加が少なく、定年退職後の参加がほとんどで高齢化が進んでいる。 俳句大会への参加等が活動のモチベーション向上につながっている。
川柳	20 前後	約 300 人	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 活動者数はここ 7、8 年で 1 割減。 若年層の参加が少なく、定年退職後の参加がほとんどで高齢化が進んでいる。 地区句会の代表等が若年層の参加のはたらきかけに尽力している。 川柳大会への参加等が活動のモチベーション向上につながっている。

児童文学	5	65 人前後			<ul style="list-style-type: none"> ・<u>新たな活動参加者が少なく、どの団体も発足当時のメンバーが依然として活動の主体であり、高齢化が進んでいる。</u> ・<u>詩集での作品発表、全国コンクール入賞等が活動のモチベーション向上につながっている。</u>
漢詩	3	35 人前後			<ul style="list-style-type: none"> ・元々漢詩人口は少ないが、静かな漢詩ブームにより活動者は増中 ・<u>三国高校の漢詩クラブへの講師派遣など部活動との交流を社会人への参加促進や漢詩分野の活性化に尽力している。</u> ・<u>作品展示会やコンクール入賞が活動のモチベーション向上につながっている。</u>
生活文化 約 9,160 人	約 40	約 8,400 人	93 人	663 人	
茶道	約 20	約 4,700 人	93 人 (8 校)	663 人 (44 校)	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>2、30 年前に比べ、“花嫁修業”としての参加がほとんどなくなり若年層の参加者数に影響</u> ・<u>部活動から社会人の活動へのつながりも薄く、高齢化が進んでいる。</u> ・<u>学生茶会や親子参加イベントでの部活動等との交流を通じて社会人への参加促進を働きかけている。</u> ・<u>茶会の開催や参加が活動のモチベーション向上につながっている。</u>
華道	20 余	約 3,700 人			<ul style="list-style-type: none"> ・<u>茶道と同じ理由により若年層の新たな参加が少なく、高齢化が進んでいる。</u> ・<u>部活動への講師派遣を通じて部活動から社会人への参加促進をはたらきかけている。</u> ・<u>花展での作品発表が活動のモチベーション向上につながっている。</u> ・<u>小規模団体単独の花展開催は来場者が見込めず困難。すでに各流派の県連盟や県華道協会主催の花展に参加しているが、団体合同の花展開催の機会がもう少しあるとよい。</u>
計 約 32,600 人	—	約 29,030 人	1,271 人 (4,236 人)	2,317 人 (3,735 人)	※()内は、県吹奏楽連盟、県合唱連盟、県マーチングバンド・バトントワーリング協会の加入者を含む人数

* この資料における団体数、活動者数は、当該分野で自ら公演や展覧会等を企画するなど本格的に活動する主要団体の数、当該主要団体への参加者数とした。

【資料2】芸術文化団体が高校部活動等に関与している主な事例（平成19年度）

	分野	事業名	内容	実施団体	子どもたちの参加実績
1	文芸	—	三国高校漢詩クラブへの指導者派遣	福井県漢詩人協会	三国高校漢詩クラブ員16人
2	茶道	学生茶会	中学校・高校の茶道部員等を中心とした日ごろの活動成果発表を通じた研修	(社)茶道裏千家淡交会福井支部	75校 約1,000人
3	茶道	学校茶道茶会	高校の部活動生徒によるお手前、お運び等による茶会	表千家福井県支部 (同門会・吉祥会合同)	4校 54人
4	華道	—	中学校・高校の部活動の指導者派遣	福井県華道協会	—

*吹奏楽、合唱、マーチングバンド・パトントワーリングについては、中学生、高校生の部活動そのものが県連盟に加盟しており、社会人の活動者と中、高校生の活動者とのつながりは深い

【資料3】芸術文化活動の開始時期や技術レベルの向上時期等に関する部活動指導に携る教員や実際の活動者の意見等（平成20年8月聴取り調査）

《美術》

- ・中学校の美術部に所属して活動を本格化し、この時期に著しい上達が見られる。
- ・「ヤング・アート・キャンプ」（県事業）の開催期間延長による事業の充実や県立美術館等における子どもを対象としたレベル別実技セミナーの開催等により、子どもたちの技術レベルの一層の向上を図ることが考えられる。

《書道》

- ・児童期の活動開始が極めて多く、この時期に活動を本格化させるとともに技術的基礎の習得をベースに児童期から高校期にかけて最も上達する。

《音楽》

- ・弦楽器等では状況が異なるが、一般的には中学校の吹奏楽部や合唱部に所属して活動が本格化し、この時期に上達のピークがある。
- ・県外講師を招いての「ヤング・アート・キャンプ」はレベル向上の好機である。期間（日数）延長により一層効果が上がると考えられる。（吹奏楽・合唱）

《邦楽》

- ・邦楽は、社会人になってから、活動を本格化するが多い。

《芸能》

- ・能楽、日本舞踊、吟詠剣詩舞、民謡民舞等は、時間的余裕ができて始める中・高年期や退職後に開始し、その後活動を本格化させる場合が多い。

《演劇》

- ・児童劇団への参加や中学校期からの活動開始がわずかにあるが、高校の部活動への参加により活動を本格化するとともに、演技力の基礎的な部分はこの時期に最もレベルアップする。
- ・県外講師を招いての「ヤング・アート・キャンプ」はレベル向上の好機である。期間（日数）延長により一層効果が上がると考えられる。

《文芸》

- ・文芸においては、戦前・戦中・戦後に多くの結社があり、多くの文学青年が活動に参画したが、現在は、退職後に活動を開始し、その後活動を本格化させる場合が多い。感性豊かな中学校・高校期から開始すれば、この時期に大きな上達が期待できる。

《茶道・華道》

- ・感性が養われるのは高校生までであるので、高校生までに活動開始すれば、その時期に大きな上達がある。
- ・従来、地域の個人教室に多くの中高校生が通っていたが、最近では中・高校の個人教室離れが進み、学校での部活動への参加にシフトしている傾向が見られ、この時期に活動を本格化させる。

[共通事項]

○大学生・社会人になって以後の活動開始について

- ・おおむねどの分野においても、社会人の活動のレベルは一定水準以上であるので、大学生・社会人になって以後の活動継続に向けては、高校生までにおいて、感性や活動のレベルが一定以上に達していることが望ましい。
- ・しかしながら、実際には一定水準以上に達することなく活動を止めてしまうことも多く、このことが、若年層の活動参加が少ないことの一因であると考えられる。

○指導者講習について

- ・長期的な観点から県全体のレベル向上を考えると、指導者のレベル向上が必要であり、県外の優れた指導者による指導者講習の開催が求められる。

○学校教育での多様な文化芸術体験について

- ・学校や地域、家庭など身近なところで、音楽や美術など興味を持ちやすい分野以外の多様な芸術文化を見聞きし体験する機会が減っており、これが芸能や文芸、茶道、華道などの分野においての若年層不足を加速していると思われる。
- ・このため、学校教育現場において、より多様な芸術文化分野での体験機会の提供が図られることが求められる。

【資料4】若手芸術家の育成に関する現役の芸術家や芸術家を目指す若手、指導者の意見等
（平成20年11月聴取り調査）

《音楽》

- ・演奏技術や感性は、高校期までが最も向上する時期であり、この時期にハイレベルの教育・指導を受けることが必要
- ・また、将来、演奏家として成功していくためには、優れた指導者、第一線で活躍する芸術家等との出会いやつながり、人脈の拡がりが必要である。
- ・このため、最も技術力や感性が向上する高校期までの間に、個人指導や部活動などを通して、ハイレベルの指導者による指導、レッスン等を受けられる機会が豊富にあるとよい。
- ・ハイレベルの演奏家、指導者等との出会いそのものが演奏家を目指すきっかけにもなる。
- ・芸術家をめざす過程においては、本格的な発表機会への出演経験の中で成長していく部分も大きいので、県立音楽堂等の拠点施設での多くの発表機会があるとよい。
- ・さらに、オーケストラとの共演や様々な楽器構成による多彩な発表機会の提供が、技術レベルのアップにもつながるため、そのような多様な発表機会が豊富に与えられるとよい。
- ・海外留学や国際コンクール参加が、技術力アップやキャリアアップにつながるため、これらに対する支援があるとよい。

《美術》

- ・美術作家を目指すには、全国レベル以上で活躍する芸術家や指導者から指導を受けたり、第一線で活躍する芸術家の感性や視点、作品コンセプトなどに触れたり、若手芸術家の美術運動などにも加わって常に刺激を受けるような環境に身を置くことが求められる。また、優れた芸術家や指導者との出会いやつながりを通じた人脈の拡がりが必要である。
- ・技術や感性については、主として高校期における美術系大学を目指しての部活動を通して高い水準に達していくことから、高校で部活動に励むような若い頃から、全国的にハイレベルの教育指導が受けられるような機会が豊富にあるとよい。
- ・美術系大学に入学した後は、基本的に個人レベルでの創作活動を通じて自ら技術力・表現力を磨いていくが、自分よりも実力のある作家とのコラボレーション等による展覧会等は、キャリアアップや創作活動の大きな刺激・原動力となるので、そうした機会が豊富にあるとよい。
- ・美術は、海外での作品展の成功や海外で認められることの意義が極めて大きい世界である。海外で認知されるための足がかりとしての海外留学や海外での作家活動、作品展の開催などに対する支援があるとよい。

【資料5】指導者を招へいしての技術向上セミナー等

①部活動の場での指導を中心とした高校期までのもの

（参加実績はH19年度）

実施主体	事業名	対象	分野	会場	事業概要	参加実績
県	文化芸術アカデミー開催事業	小・中・高	音楽、美術、演劇、文芸	学校	本県ゆかりの著名な文化人・芸術家を学校に派遣しての講演と部活動指導	9箇所 参加者 2,368人
	ヤング・アート・キャンプ開催事業	中・高	音楽、美術、演劇、文芸	文化施設等	芸術文化に取り組んでいる子どもたちを対象に、国内トップレベルの文化人・芸術家による実技指導	6回 参加者 584人
文化芸術団体等	音楽講習会 (県高等学校文化連盟)	高校	音楽	県立盲学校	表現活動についての講義と実技 参加者 15人	1回 参加者 15人
	吹奏楽講習会 (県吹奏楽連盟)	中・高・一般	吹奏楽	県民会館、福岡県等	県外講師を招いてのモデルバンド形式の講習や県外団体視察	4回
	楽器別講習会 (県高等学校文化連盟)	高校	吹奏楽	敦賀、武生、高志の各校	12種類の楽器ごとに県内外から講師を招いての主として初心者を対象にした演奏法指導	2回 参加者 414人
	弦楽講習会 (県高等学校文化連盟)	高校	器楽管弦楽	武生高校	外部講師を招いての講習	1回 参加者 4校
	マーチング講習会 (県吹奏楽連盟)	高校、一般	マーチング	参加各校等	県外講師を招いての講習	1回 参加者 4校
	マーチング講習会 (県高等学校文化連盟)	高校	マーチング	敦賀短大体育館	県外講師を招いての講習	1回
	合唱セミナー (県合唱連盟)	中学校	合唱	鯖江市文化センター	県外講師を招いての講習会の実施	1回 参加者 188人
	指導者講習会 (県高等学校文化連盟)	高校	合唱	順化公民館	県外講師を招いての発声の基本の習得、全体での合唱曲練習を実施	指導者講習1回 セミナー4回 参加者 118人
	合唱セミナー (県高等学校文化連盟)			鯖江市文化センター等		
	日本音楽講習会 (県高等学校文化連盟)	高校	邦楽	県立音楽堂	県内外の講師を招いて実技指導を実施	1回 参加者 100人
	表現研修 (県高等学校文化連盟)	高校	美術	丹南高校	美術系大学講師を招いての色彩構成に関する講義と実技指導	春季・秋季2回 参加者 160人
	写真技術講習会 (県高等学校文化連盟)	高校	写真	AOSSA研修室	県外講師を招いての技術講習	2回 参加者約 100人
	和太鼓講習会 (県高等学校文化連盟)	高校	和太鼓	福井農林、勝山、嶺北養護の各校	県内外の講師を招いての演奏・演技の実技講習	12回 参加者 90人
	演劇研修会 (県高等学校文化連盟)	高校	演劇	鯖江市文化センター等	県外講師を招いての実技研修	春季・秋季2回 参加者 ・春季 120人 ・秋季 154人
	文芸部研修会 (県高等学校文化連盟)	高校	文芸	越前市生涯学習センター	県外講師を招いての講演会、講習会等	1回 参加者 72人

②広くセミプロ等も対象としたよりレベルの高いもの

実施主体	会場	事業名等	対象	楽器、分野等	参加実績		
県	県立音楽堂	ハーモニーセミナー開催事業	—	—	H17 46人 H18 101人 H19 175人		
		アイリッシュハーブ（初級コース）	原則高校生以上	アイリッシュハーブ	H17 6人 H18 — H19 —		
		ハーブ（夏期マスターコース）	音大生または同程度の実力者、セミプロ	ハーブ	H17 33人 H18 — H19 33人		
		マリンバセミナー・初級コース（基礎コース、ステップアップコース）	—	—	H17 — H18 6人 H19 —		
		オルガニスト養成講座	高校生以上	パイプオルガン	H17 7人 H18 5人 H19 6人		
		福井ジュニア弦楽アンサンブルセミナー	原則、小学3年～高校3年で一定レベル以上の者	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス	H17 — H18 16人 H19 24人		
		公開クリニック	—	—	H17 — H18 74人 H19 112人		
		ジャズ	高校生以上	サクソフーン、トロンボーン、トランペット等	H17 — H18 36人 H19 —		
		管楽器	H18 中学生以上 H19 高校生以上	クラリネット、ホルン、チューバ等	H17 — H18 22人 H19 90人		
		弦楽器	福井弦楽アンサンブル受講者	ヴァイオリン、チェロ、コントラバス	H17 — H18 16人 H19 22人		
		県立美術館	実技講座（専門講座）	—	—	H17 34人 H18 33人 H19 39人	
				絵画・彫刻の実技講座等を通して教育普及を行う。	16歳以上で県内に居住する者、県内に在学する者および勤務する者	日本画	H17 10人 H18 12人 H19 18人
					—	洋画	H17 20人 H18 16人 H19 14人
—	彫刻				H17 4人 H18 5人 H19 7人		

【資料6】県、拠点施設、市町、文化芸術団体が実施する、よりレベルの高い発表機会、コンクール等の実施状況
（参加者数等実績は平成19年度）

○拠点施設

番号	実施主体	事業名	分野	事業概要 (出演・参加対象者等)	参加者・出品点数等	来場者数
1	(財)福井県文化振興事業団	お話を交えながらのコンサート、若い芽コンサート、ふくいの新進音楽家たち、福井県新人演奏会	洋楽	県内の優れた若手演奏家の出演による音楽公演	—	2,052人
2	(財)福井県文化振興事業団	福井県新人演奏会オーディション	洋楽	福井県新人演奏会の公開オーディション	応募数46人 受賞数17人	96人
3	(財)福井県文化振興事業団	オルガンコンサート(オルガニスト養成講座・受講生)、ふれあい体験教室発表会、福井ハーブセミナー2007夏期マスターコース受講生コンサート、徳永二男氏特別公開クリニック	洋楽	県立音楽堂ハーモニーホール受講生の出演による公演	—	270人

○市町

番号	実施主体	事業名	分野	事業概要 (出演・参加対象者等)	参加者・出品点数等	来場者数
3	越前町	蟹と水仙の文学コンクール	詩、俳句	全国から蟹と水仙を題材にした「詩」と「俳句」を募集(小、中、高校生、一般)	応募数6,997点 受賞数66点	—
4	若狭町教育委員会	若狭町プラスフェスタ	洋楽	若狭町と交流のある大谷中・高校吹奏楽部と地元中・高校吹奏楽部との交流コンサート(中、高校生)	340人	730人

○文化芸術団体等

番号	実施主体	事業名	分野	事業概要 (出演・参加対象者等)	参加者・出品点数等	来場者数
5	福井県高等学校文化連盟	福井県高等学校総合文化祭	演劇、吹奏楽、合唱、器楽、マーチング・バトン、吟剣、邦楽等	県内の高校生が、演劇、音楽、美術等21部門に参加し、日ごろの活動の成果を発表(高校生)	2,611人	2,238人
6	福井県総合美術展運営委員会	福井県総合美術展	日本画、絵画造形、彫刻、工芸、書道、デザイン、写真	県総合美術展(15歳以上)	応募数1,006点 受賞数672点	4,721人
7	日本墨書会	日本墨書会展 福井県学生書道展 福井大仏奉納書道展	書道	書道公募展(小、中、高校、大学生)	応募数9,804点 受賞数503点	2,694人
8	(社)若越書道会	県かきぞめ競書大会	書道	書道コンクール(小、中、高校、大学生)	応募数72,114点 受賞数36,520点	—
9	福井県吹奏楽連盟	福井県吹奏楽コンクール(兼全日本予選) 福井県吹奏楽コンクール(兼中部予選) 福井県吹奏楽アンサンブルコンテスト(兼全日本予選)	洋楽(吹奏楽)	吹奏楽コンクール(小、中、高校生等)	参加数248チーム 代表51チーム	7,124人
10	福井県合唱連盟	福井県合唱コンクール(兼全日本・中部支部予選) 福井県・合唱祭 福井県ヴォーカルアンサンブルコンテスト 福井県合唱ふれあいフェスティバル	洋楽(合唱)	合唱コンクール、成果発表、アンサンブルコンテスト(中、高校生、大学生、一般、職場)	参加数132団体	2,050人
11	福井県音楽コンクール運営委員会	福井県音楽コンクール	洋楽(合唱)	ピアノ、声楽、弦楽、管楽4部門の音楽コンクール(小、中、高校生、大学生、一般)	参加者数775人	2,500人
12	風花随筆文学賞実行委員会	風花随筆文学賞実行委員会	随筆	津村節子氏の「風花の街から」にちなんだ随筆文学賞(高校生、一般)	応募数3,965編 受賞数17編	—

○民間等

番号	実施主体	事業名	分野	事業概要 (出演・参加対象者等)	参加者・出品点数等	来場者数
13	NHK、NHK福井放送局	NHK全国学校音楽コンクール 福井県コンクール	洋楽(合唱)	合唱コンクール(小、中、高校生)	—	200人
14	関西電力株式会社	美浜美術展	絵画(日本画を除く)	(資格要件なし)	応募数458点 受賞数58点	681人
15	文芸同人誌「日本海作家」、 日刊県民福井、 朝日新聞社	ふくい新進文学賞	小説、評伝、童話	本県出身等の気鋭の新人作家の発掘を目的とした文学賞(本県出身または本県在住)	—	—

【資料7】海外留学・コンクール等への参加に対する支援制度

実施主体	事業名	内容	実績
国	新進芸術家海外留学制度	美術、音楽、舞踊、演劇等の各分野における新進芸術家の海外の大学や芸術団体、芸術家等への留学を支援することにより、実践的な研修の機会を提供	H17 1人 H18 — H19 — H20 1人
	新進芸術家の育成公演制度	新進芸術家海外留学制度により研修を行った若手芸術家等に研修成果を発表する機会を提供	—
県	芸術文化活動推進事業補助金	海外研修(留学)、海外公演等への参加に対する助成	—

【資料8】県内の芸術系の学科、コース等を有する教育施設等の状況（学生・生徒数はH19年度）

学校名	学科、コース名	教育内容等	学生・生徒数
仁愛女子短期大学	専攻科	学科で学んだ理論、実践、研究をさらに深める。	20人
	音楽学科		計59人
	演奏コース	ピアノ、電子オルガン、管弦打楽器、音楽、室内楽研究等	37人
	音楽療法コース	音楽療法概論、音楽療法基礎演習、音楽、障害児保育	14人
	デジタル音楽創作コース	デジタルパフォーマンス、情報メディア入門	8人
仁愛女子高等学校	音楽科	著名な演奏家による特別講義を通じた個人能力の伸長	53人
県立丹南高等学校	総合学科に設定		計107人
	アート系列	絵画、彫刻等を中心に美術の基礎的な知識・技術の習得	24人
	デザイン系列	デザインに関する基礎的な知識や技術の習得	50人
	地域文化系列	地域の伝統産業に関する知識の習得	33人
福井高等学校	普通科に設定		—
	吹奏楽コース	吹奏楽の基礎技術と音楽の表現力を学ぶ。 ※H19年度に開設のため生徒数はH20年度当初の在籍者数を採用	55人

【資料9】中学校・高等学校における文化部所属生徒数

○高等学校

分野	生徒数	学校数
吹奏楽	1,168	28
茶道・華道	663	44
美術・工芸	529	36
書道	331	27
合唱	202	18
管弦楽・器楽	96	4
放送	212	27
演劇	180	22
文芸	194	16
写真	159	16
囲碁・将棋	75	11
邦楽	135	12
新聞	60	18
郷土芸能	70	3
ダンス	26	3
マーチング	48	1
かるた	24	4
吟詠剣詩舞	4	3
弁論	10	1
計	4,186	295
全生徒数に占める割合	16.6%	—

（平成20年度高等学校文化連盟資料）

○中学校

分野	生徒数	学校数
吹奏楽	2,615	59
美術	1,044	48
合唱	337	17
放送	165	22
茶道・華道	93	8
文芸	82	12
新聞・報道・広報	54	3
書道	26	4
和太鼓・郷土芸能	20	2
演劇	16	2
バトン	13	1
陶芸	9	1
囲碁・将棋	5	1
日本舞踊	1	1
その他	4	1
計	4,484	182
全生徒数に占める割合	17.8%	—

（平成20年県教育委員会調査）

【資料10】小・中学校、高等学校文化部の全国大会での活躍の状況（平成17～19年度）

分野	学校名	受賞内容（年度）
吹奏楽	武生東高校	全日本吹奏楽コンクール銅賞（17, 19） 全日本アンサンブルコンテスト金賞（18）
	福井市美山中学校	全日本アンサンブルコンテスト金賞（18）
	鯖江市立鯖江中学校	全日本吹奏楽コンクール銅賞（18） 全日本アンサンブルコンテスト金賞（18）
マーチングバンド	敦賀高校	全日本マーチングバンドコンテスト銅賞（18） マーチングバンド・バトントワーリング全国大会銀賞（18, 19）
	仁愛女子高校	マーチングバンド・バトントワーリング全国大会銀賞（17, 18, 19）
バトントワーリング	福井高等学校	マーチングバンド・バトントワーリング全国大会銀賞（17, 18, 19）
合唱	福井大学附属中学校	全日本合唱コンクール銀賞（19）
	鯖江市立中央中学校	全日本合唱コンクール金賞（18）
	福井市麻生津小学校	こども音楽コンクール文部科学大臣（小学校重唱部門）奨励賞（17） NHK全国学校音楽コンクール銀賞（18）、優秀賞（19）
郷土芸能	勝山高等学校、 福井農林高校（合同）	全日本高等学校総合文化祭最優秀賞（19）
書道	若狭高等学校	国際高校生選抜書展中部北陸地区優勝（団体賞）（18）
文芸	若狭高等学校	全国高等学校文芸コンクール文芸誌部門優秀賞（17）、入選（18）

【資料11】子ども期における鑑賞経験の必要性について（高等学校文化連盟美術・音楽各部門担当教員等で、自らも当該分野において本格的な活動を行う教員からの聴取り調査（平成20年8月実施）から

《美術》

- ・美術的な感性を育て、創造性を伸ばすためには、創作と鑑賞の双方が重要であるが、特に、美的情操や創造性など文化的素地が形成される小学校高学年から中学生の時期に、優れた鑑賞機会が与えられることが極めて重要である。

《音楽》

- ・将来にわたり、音楽活動や鑑賞など音楽にかかわっていくための最も基礎的な要素は、音感、音楽への興味、感性などであるが、これらを育むためには、幼児期・児童期に優れた鑑賞の機会が数多く与えられることが極めて重要である。

【資料12】県、市町が提供する子どもを対象とした主な音楽・美術分野の鑑賞機会（平成19年度）

◎学校教育現場等での鑑賞機会の提供

実施主体	会場	事業名	分野	内容	来場者数
県 (市町の事業はなし)	病院、公共施設等	まちかどふれあいハーモニー	音楽	病院や公共施設等に、アマチュアの演奏等を招いてのミニコンサートを開催する。	7回 1,250人
	学校、公共施設	ふれあいミュージアム	美術	県立美術館が所蔵する美術品を各学校、公共施設に出張展示し、学芸員による解説も行う。	13回 2,421人
	文化ホール、学校	芸術鑑賞教室	音楽	地域の文化ホール等において室内楽、合唱等の公演を鑑賞する。	20公演 9,243人
	学校	小松長生監修スクールコンサート	音楽	本県出身の指揮者小松長生氏および音楽家数名によるコンサートを開催する。	20公演 11,000人
	各学校	本物の舞台芸術体験事業	音楽等	学校において合唱、オーケストラ、演劇、邦楽、伝統芸能等の優れた舞台芸術に直に触れる機会を提供する。	19校 7,131人
	各学校	学校への芸術家等派遣事業	音楽等	芸術家や伝統芸能保持者を学校に派遣し、公演を開催するとともに実技体験等も行う。	10校 914人
計					31,959人

◎拠点施設での鑑賞機会の提供

実施主体	会場	事業名	分野	内容	来場者数
県	県立美術館	企画展「館蔵名品展」(前期・後期)「ガラスの魔力・ガラスの魅力」での美術鑑賞会	美術	県立美術館の企画展において、子どもを対象として学芸員がわかりやすく説明する美術鑑賞会 対 象:小学生～高校生	3回 46人
	県立音楽堂	県立音楽堂子ども鑑賞シート設置事業	音楽	県立音楽堂で開催されるコンサートに子ども向けの無料鑑賞シートを設置する 対 象:小学生～高校生	15公演 747人
		県立音楽堂ちびっこコンサート体験事業	音楽	子どもたちに親しみやすい曲目による公演およびハーブ、ヴァイオリン等の楽器体験 対 象:園児、小学生	20公演 11,678人
小浜市	小浜市文化会館	イージー・リスニングクラシックコンサート	音楽	開催日:6月7日 対 象:市内全中学生	1,005人
若狭町	パレア若狭音楽ホール	井上あずみファミリーコンサート	音楽	開催日:3月9日 出 演:井上あずみほか 対 象:園児、小学生	412人
計					13,888人

【資料13】県立音楽堂および県立美術館における子どもの来館者数（平成19年度）

○県立音楽堂（単位：人）

	来館者総数	
		子ども
公演	116,011	34,801
練習室等	73,582	20,208
総数	189,593	55,009 ※子どもは総数の29.0%

※本県の4歳以上の人口784,259人に対する来館者総数の割合は、約2.4%

※本県の4歳以上高校までの人口142,292人に対する子どもの来館者数の割合は、約3.9%

○県立美術館（単位：人）

	来館者総数	
		子ども
展覧会	141,963	5,748
研修室等	16,777	26
公演+研修室等	158,740	5,774 ※子どもは総数の3.6%

※本県の4歳以上の人口784,259人に対する来館者総数の割合は、約2.0%

※本県の4歳以上高校までの生徒数142,292人に対する子どもの来館者数の割合は、約4%

【資料14】ちびっこコンサート来場者等（小学校、幼稚園等）からの意見集約

（小学校、幼稚園、保育園訪問および来場者アンケート実施；平成18年5月～20年7月）

- ・バス代が負担であるので無料にするか、バス代に対する助成があるとよい。
- ・保護者に対する臨時の交通費（バス借上げ代）負担が参加の大きな障害である。
- ・公演プログラムはとても良いが、交通費がかさむのに頭を悩ませている。
- ・降雪期は、徒歩、電車の乗降等、園児の引率が大変
- ・降雪期は、交通の便が悪いので参加できない。天候の良い時期に開催してもらいたい。
- ・参加したい公演があっても、園行事と重なり、参加できないのが残念
- ・校外学習のシーズンに合わせて開催してもらいたい。
- ・公演内容は良いが、学校行事で忙しくてなかなか参加できない。

論点 1	ふくいの芸術文化の振興
1-2	県民が芸術文化に親しむことができる環境の充実

【資料1】芸術文化に関する情報のわかりやすさ・入手の容易さに関する意見等
 （「芸術文化に関するアンケート結果（平成20年7月実施）」から）

順位	選択事項	回答数	回答比率(%)
1	わかりやすい・入手しやすい	121	41.7
2	わかりにくい・入手しにくい	81	30.6
3	無回答	49	27.8

＜わかりにくい・入手しにくい理由＞

- ・情報の所在がわかりにくい。
- ・情報のアクセス先がバラバラである。
- ・情報が一元化されていない。
- ・テレビ・ラジオ等での告知回数が少ない。
- ・新聞への記載が非常に少ない。
- ・テレビ、ラジオ、インターネット以外での情報が少ない。

【資料2】芸術文化鑑賞の上で支障となっている事項（上位5位を記載。以下は「その他」で計上）
 （「芸術文化に関するアンケート結果」（平成20年7月実施）から）

順位	支障事項	回答数	回答比率(%)
1	時間的余裕がない。	133	28.5
2	お金がかかる。	97	20.8
3	催しに関する情報が少ない。	39	8.4
4	魅力ある公演、展示等の催しが少ない。	30	6.4
4	入場券が入手しにくい。	30	6.4
—	その他・無回答	138	29.7

【資料3】活動したいが、できない理由（活動開始の支障となっている事項）
 （上位5位を記載。以下は「その他」で計上）
 （「芸術文化に関するアンケート結果」（平成20年7月実施）から）

順位	支障事項	回答数	回答比率(%)
1	時間的余裕がない。	42	35.6
2	お金がかかる。	19	16.1
3	身近な指導者・講師および文化芸術活動に関する情報がない。	10	8.5
5	同好の仲間がいない。	5	4.2
5	家族等周囲の人の理解が得られない。	5	4.2
—	その他・無回答	36	30.6

【資料4】芸術文化に関する情報の入手方法（上位5位を記載。以下は「その他」で計上）
（「芸術文化に関するアンケート結果」（平成20年7月実施）から）

順位	情報の入手方法	回答数	回答比率(%)
1	新聞・雑誌	121	21.4
2	ポスター・チラシ	93	16.5
3	テレビ・ラジオ	81	14.3
4	友人、知人、家族等	62	11.0
5	インターネット	57	10.1
—	その他・無回答	151	26.7

【資料5】芸術文化に関して入手したい情報の種類（上位5位を記載。以下は「その他」で計上）
（「芸術文化に関するアンケート結果」（平成20年7月実施）から）

順位	情報の種類	回答数	回答比率
1	コンサート、イベント、展覧会等に関する情報	179	45.9
2	講座、教室等の開催に関する情報	58	14.9
3	芸術文化団体や活動グループに関する情報	34	8.7
4	県内外の芸術家や文化人等に関する情報	28	7.2
5	文化施設等の練習室や研修室や当該施設の空き情報	17	4.4
—	その他	74	19.1

【資料6】県内の主な文化施設、団体等における情報提供の内容（平成20年8月調査）

※ホームページから調査（県文協は会誌）

区分	主な文化施設・団体等	知りたい情報提供の内容(アンケート上位6項目)						連携 県や市町のHP 等とのリンクの 有無
		① コンサート、イ ベント、展覧 会等の情報	② 講座、教室の 開催に関する 情報	③ 活動団体等 に関する情報	④ 県内外の芸 術家・文化人 に関する情報	⑤ 指導者や講 師に関する情 報	⑥ 練習室等の 施設の空き情 報	
県	福井県立美術館	○	○		○			○
	福井県立音楽堂	○	○ (事業団HP)	○ (事業団HP)			○	○
福井市	福井市文化会館 福井芸術・文化フォーラム	○	○	○ (リンク)			○ (ふくe-ねっと)	○
	福井市美術館	○	○					○
敦賀市	敦賀市民文化センター 敦賀市芸文協会	○	○				○	○ (市HP内)
小浜市	小浜市文化会館 文芸おばま、小浜市文化協会	○	○	○			○	○
大野市	大野市文化会館	○ (市全体)						○ (市HP内)
勝山市	勝山市市民会館	○ (市全体)	○ (市全体)				○	○ (市HP内)
鯖江市	鯖江市文化センター Comfortさばえ	○	○	○			○ (ふくe-ねっと)	○
あわら市	金津創作の森	○	○	○	○ (入居作家)	○	○	○
越前市	越前市文化センター	○	○					○
坂井市	ハートピア春江	○	○				○ (ふくe-ねっと)	○
永平寺町	上志比文化会館サンサン ホール	○ (町全体)					○ (ふくe-ねっと)	○ (町HP内)
池田町	能楽の里文化交流会館	○ (町全体)	○ (町全体)	○ (名称のみ)			○	○ (町HP内)
南越前町	南条文化会館	○	○ (町全体)	○ (広報紙で随時 紹介)			○ (ふくe-ねっと)	○ (町HP内)
越前町	越前陶芸村文化交流会館	○ (町全体)						○ (町HP内)
美浜町	美浜町中央公民館 美浜町教育委員会	○	○					○
高浜町	高浜町文化会館	○ (町全体)	○ (町全体)					○ (町HP内)
おおい町	おおい町立郷土史料館	○ (町全体)	○ (町全体)	○ (広報紙で随時 紹介)				○ (町HP内)
若狭町	パレア若狭	○	○				○	○
(財)福井県文化振興事業団		○	○	○ (リンク)	○ (季刊ブンカ)		○ (音楽堂)	○
(社)福井県文化協議会		○ (実績)	○ (実績)	○	○		-	-
(財)げんでんふれあい福井財団		○	○ (公募、表彰)		○ (広報誌)		-	○

【資料7】県立の文化施設における企画展または自主公演の開催状況と来場者数 入館者数の単位：人

施設名	H17年度		H18年度		H19年度	
	企画展名	入館者数	企画展名	入館者数	企画展名	入館者数
歴史博物館	蓄音機オールディーズ	5,330	ブックアート	3,547	白山一祈りと癒しの山一	4,162
	ピン	5,587	ガラスの芸術	4,507	昭和一人とクルマのオールディーズ	11,003
	メガネギャラリー	6,217	鬼	3,796	古代のテクノロジー	3,303
	わんだふる犬	4,276	由利公正	2,734	マウス&キャット	5,168
	—	—	イノシシと干支せとら	5,520	—	—
	計	21,410	計	20,104	計	23,636
美術館	無言館 遺された絵画展	6,654	黒澤アート展	14,977	館蔵名品展（前記）	1,483
	第36回日展福井展	20,005	水木しげるワールド	10,663	館蔵名品展（後期）	4,041
	びっくりぎょうてん！紙わざの世界展	6,839	岡倉天心「茶の本」出版100周年記念	2,183	遊びにおいてよ！動物ファンタジーへ	4,100
	ベルギー象徴派展	3,001	京の美意識—伝統の検証者たち—	8,699	ガラスの魔力・ガラスの魅力	6,550
	国民文化祭美術展	11,120	海洋堂の軌跡	17,414	海をこえてきたみほとけたち	3,120
	第90回院展福井展	8,096	—	—	—	—
	虹のかなたに響嘸 AY-0 回個展	2,863	—	—	—	—
	計	58,578	計	53,936	計	19,294
若狭歴史民俗資料館	若狭湾と中世の海の道	4,015	発掘された若狭・越前	2,774	明通寺—坂上田村麻呂と若狭—	3,618
	—	—	発掘された日本列島	3,160	—	—
	計	4,015	計	5,934	計	3,618
一乗谷朝倉氏遺跡資料館	花咲く城下町一乗谷	6,629	古文書が語る朝倉氏の歴史	6,664	技	4,655
	計	6,629	計	6,664	計	4,655
音楽堂	自主企画による26公演等	23,592	自主企画による30公演等	24,879	自主企画による44公演等	41,346
	計	23,592	計	24,879	計	41,346
—	計	114,224	計	111,517	計	90,890

【資料8】館蔵品による常設展、テーマ展等の開催状況（平成19年度）

施設名	内 容	開催実績
歴史博物館	○常設展「昭和のくらし」コーナー ※年4回展示替え	来場者数 44,806 人
美術館	○館蔵品を活用した多彩なテーマ展の開催 平成18年度新収蔵品紹介、三上誠、東西の神と仏、小野忠弘の表現、岡島コレクシオン／工芸、新春干支尽くし、風景と山水、横山操とその仲間たち	10回／年 開催 来場者数 15,980 人
若狭歴史民俗資料館	○館所蔵資料・寄託資料を活用したテーマ展の開催 山川家の刀剣、二つの七年祭、庶民の器・伊万里、再発見！鳥浜貝塚資料	4回／年 開催 来場者数 5,503 人
一乗谷朝倉氏遺跡資料館	○常設展 直近の発掘調査新出土遺物の紹介や研究による新知見資料の紹介等	来場者数 17,162 人

【資料9】県立の文化施設における講座、講演、展示解説等の教育普及の取組状況（平成19年度）

施設名	取り組み項目	内容	参加者数
歴史博物館	企画展での展示解説（6回）	企画展「白山」、「昭和 1950-60' s-人とクルマのオールディーズ」、「古代のテクノロジー」での学芸員による展示解説	延べ 360 人
	企画展でのスペシャルトーク（3回）	企画展「古代のテクノロジー」での携帯電話関連技術者による商品開発の裏話	延べ 150 人
	シンポジウム（1回）	福井県・石川県文化交流企画「白山」において、福井・石川両県の研究者が、白山の歴史と文化についての研究成果等を発表	160 人
	遊び体験（1回）	企画展「昭和 1950-60' s-人とクルマのオールディーズ」（夏休み特別企画）での昭和の子どもたちの遊び体験	32 人
美術館	美術鑑賞会（一般対象6回、子ども対象3回）	企画展「館蔵名品展」（前期・後期）*、「ガラスの魔力・ガラスの魅力」*、「海を越えてきたみほとけたち」での学芸員による美術鑑賞会の開催 *印は子ども対象の鑑賞会も実施	延べ 201 人 （うち子ども 46 人）
	移動美術館展（敦賀1回、小浜2回）	嶺南地域での美術館の開催	1,662 人
	ふれあいミュージアム（学校10回、公共施設3回）	学校、文化施設等での学芸員の解説による出前美術鑑賞会の開催	2,421 人
	記念講演（2回）	テーマ：「中・韓・日にみる古写経の変遷」 企画展「海を越えてきたみほとけたち」での外部講師による記念講演	延べ 154 人
	実技講座（基礎講座10回、専門講座25回）	基礎講座—対象：初歩的な基礎を学ぼうとする者 分野：日本画、洋画、彫刻	延べ 500 人
		専門講座—対象：専門的に学ぼうとする者 分野：日本画、洋画、彫刻	延べ 975 人
友の会講座（延べ20回）	友の会主催による作品制作講座 分野：木炭デッサン（10回）、ステンドグラス（10回）	延べ 260 人	
若狭歴史民俗資料館	郷土史講座（7回）	「不動明王の水は神?」、「若狭の古代」、「縄文時代の木製品について」、「中世の明通寺」、「古代の道と若狭の駅家」、「若狭の「さば」今昔」、「くず粉」、「和久里壬生狂言」をテーマに、職員、外部研究員等が解説	324 人
	考古学体験講座（1回）	テーマ：「本物にふれよう～考古学体験～」 所蔵する実物の土器などを使った拓本の作成	13 人
	古文書解説講座（1回）	テーマ：「出陣の作法」 山川登美子の生家に伝えられた「要門軍札」をテキストに崩し字の解説と武士の作法について説明	50 人
	記念講演（1回）	テーマ：「新八幡宮伝来の絵巻について」 特別展「明通寺 1201」での記念講演	105 人
一乗谷朝倉氏遺跡資料館	公開講座（5回）	「朝倉氏の歴史」、「朝倉氏と神道伝授」、「一乗谷と茶の湯」をテーマとした職員による公開講座	103 人
	遺跡見学会（4回）	遺跡や山城を訪れ、城館跡、城跡等の歴史、構造等について職員が解説、「朝倉氏ゆかりの地を歩く」、「朝倉氏遺跡見学会」、「山城見学会」	136 人
	記念講演（1回）	特別展「技」での外部講師による記念講演 テーマ：「技にみる漆工芸」	26 人
	展示解説（3回）	特別展「技」での職員による展示解説	138 人
	現地説明会（1回）	平成19年度の発掘調査成果についての現地説明	135 人
音楽堂	ハーモニーセミナー開催事業（9コース）	バイオリン、チェロ、マリンバ、ハープ等の楽器で、レベルに応じた技術指導	延べ 207 人
	普及広報事業	インフォメーションセンターでのCD、DVD、ビデオ、専門誌の購入・整備、視聴サービス	6,420 人
—	—	—	14,532 人

【資料10】その他県立の文化施設における入館者、利用者数増加に向けた取組状況

	取組み内容				
	歴史博物館	美術館	若狭歴史民俗資料館	一乗谷朝倉氏遺跡資料館	音楽堂
企画内容や開催方法等の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○ふるさとの日にちなんだ福井に関する資料の特別展示の開催 ○夏期帰省客をターゲットとした昭和の暮らしに触れられる家族向け企画展の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○普段と異なる視点で作品を見てもらう、展示作品の人気投票の実施 ○子どもの鑑賞を手助けするワークシートの作成 ○企画展開催中の金曜日の開館時間延長 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域や学校教育等にも密接に関連したテーマでの企画展の開催 ○依頼に応じて学校や地域に出向いての出前講座を実施 ○団体のみならず個人の入館者に対しても学芸員や囁託が展示解説 	<ul style="list-style-type: none"> ○時代や地域が限られる中での異なる切り口による企画内容の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ○通常大都市圏でしか鑑賞機会のない優れたアーティスト等による公演を開催 ○県民に幅広く来館いただけるよう、邦楽、伝統芸能など多様な公演を企画
企画展、自主公演等の開催、関連事業等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○企画展での展示解説、スペシャルトーク、シンポジウム、遊び体験等の開催 ○企画展「白山」に併せた白山チャレンジウォークの実施 ○企画展に併せたミュージアムコンサートの開催 ○小学校の見学での民具の着脱や脱穀等の体験を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○企画展での美術鑑賞会、記念講演の開催 ○企画展で、解説ボランティアが入館者の希望に応じて解説サービス ○企画展で、子どもたちが夜の美術館探検等を行うナイトミュージアムの実施 ○企画展の金曜延長開館等でのミニコンサートの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○特別展での記念講演の開催 ○郷土史講座、古文書解説、小学生対象の考古学体験等の開催 ○展示会の中で、子どもコーナーや衣類、道具等の着脱体験コーナーを設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○企画展での記念講演、展示解説の開催 ○公開講座、遺跡見学会、記念講演、現地説明会等の開催 ○茶の湯が盛んであった朝倉文化にちなんで企画展開催中に「茶の湯」をサービス ○JR福井駅、AOSSA等でのパネル展の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○特に子どもたちを対象とした公演に併せて、楽器体験コーナー、パイプオルガン探検ツアー等を実施 ○自主公演に併せて、出演者が技術指導を行うセミナーを実施
関係団体等との協力、連携等	<ul style="list-style-type: none"> ○福井大学教育地域科学部の博物館学芸員課程の学生が、展示内容の企画、展示作業、展示解説に参画 ○企画展において、関連する地元企業等からの資料提供、技術的支援等の積極的協力により開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○福井大学の教授や学芸員課程の学生と協力し、企画展での関連イベント等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○五施設連携事業（本館、国立自然の家、県海浜自然センター、県立美方青年の家、若狭町立縄文博物館）に参画し、小学生向けの学習会、体験講座等実施 ○友の会グループとの連携による資料の無料借用を実現 ○友の会機関紙等に他の文化施設等の情報を掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ○福井市自然の家で宿泊学習した小学生を招き展示解説 ○福井市施設「復原街並」との共通観覧券の発行 ○一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会との連携による「越前朝倉戦国まつり」、「吟行俳句大会」等の事業実施 ○一乗谷朝倉氏遺跡保存協会との連携による「越前朝倉糸桜まつりライトアップ」、「人形浄瑠璃」、「万灯夜」等の事業実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の自治会連合会主催との協働によりワンコインオルガンコンサートを実施 ○邦楽の公演において、茶道団体の協力により、お茶席を設置 ○駐車場整理を地域の農家組合の協力を得て実施

<p>地域に開かれた施設をめざした取組み</p>	<p>○福井大学教育地域科学部の博物館学芸員課程の学生が、展示内容の企画、展示作業、展示解説に参画（再掲） ○企画展において、関連する地元企業等からの資料提供、技術的支援等の積極的協力により開催（再掲）</p>	<p>○開館当初から、展示室および実技研修棟を広く県民に提供 ○作品鑑定相談、保存相談、県外展覧会情報の照会、その他美術関連の問合せにきめ細かに対応</p>	<p>○授業としての来館や遠足等を対象に体験講座や子どもでもわかりやすい歴史講座を実施 ○地域サークル活動への発表の場の提供（エントランスホール等） ○地域のお祭行事の来館の働きかけ ○地域誌の編さんに対する調査依頼、原稿依頼等による協力</p>	<p>○一乗谷朝倉氏遺跡保存協会との連携による「越前朝倉系桜まつりライトアップ」、「人形浄瑠璃」、「万灯夜」等の事業実施（再掲）</p>	<p>○地域の自治会連合会主催との協働によりワンコインオルガンコンサートを実施（再掲） ○展示ギャラリーを地域の文化団体等に開放（H20年度～試行） ○地域の公民館活動の発表の場としてホワイエ等を提供 ○子どもたちの来館時に、敷地内の芝生広場を開放</p>
<p>親しみやすい雰囲気づくり</p>	<p>○昭和のくらしの展示における回想法の導入と季節の演出 ○喫茶店の設置 ○クリスマスデコレーションの実施</p>	<p>○来館者への案内のためボランティアが常駐 ○喫茶店の設置</p>	<p>○雛人形、鯉のぼり等季節の飾りを設置 ○専門分野外の照会、情報提供依頼へも可能な限り対応</p>	<p>○案内ボランティアの配置（一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会事業）</p>	<p>○敷地内にカフェの設置 ○ホワイエにドリンクカウンター設置 ○邦楽の公演において、お茶席を設置（再掲）</p>
<p>館蔵品の充実</p>	<p>○民間の資料調査の際の所蔵者に対する寄贈・寄託のはたらきかけ ○資料提供の新聞での呼びかけ ○関係業者との頻繁な情報交換</p>	<p>○寄贈作品中心の展覧会の開催 ○寄贈者顕彰のための命列パネルの設置 ○作品キャプション、館蔵品目録に寄贈者名を表記</p>	<p>○鳥浜貝塚出土資料の修理を推進 ○銘文等のある重要資料の寄贈・寄託のはたらきかけ ○民間所有の貴重な資料に係る情報収集</p>	<p>○歴史博物館との協力により必要な中世資料について情報収集</p>	<p>—</p>
<p>施設相互の協力・連携</p>	<p>○福井県博物館協議会（博物館、美術館、恐竜博物館、福井市美術館、福井市立郷土歴史博物館、勝山城博物館） ・スタンプラリー（加盟館6館をまわると商品提供）の実施（H20年度～） ○若狭歴史民俗資料館 ⇄ 国立青少年自然の家、県立海浜自然センター、県立三方青年の家、若狭町立縄文博物館 ・五施設連携事業：上記5施設の連携により、全国の小学生を対象に、若狭地方の歴史、習俗等を学習する宿泊体験事業を実施 ○歴史博物館 ⇄ 美術館 ・歴史博物館と美術館との共通入館券（H20年度～試行） ○美術館 ⇄ 県内文化施設 ・作品、資料等の相互貸借等 ○若狭歴史民俗資料館 ⇄ 美術館 ・移動美術展の開催（2回/年） ○若狭歴史民俗資料館 ⇄ 博物館、恐竜博物館、一乗谷朝倉氏遺跡資料館 ・移動企画展の開催（1回/年） ○美術館 ⇄ 文化課 ・美術館の館蔵品により、学校や公共施設等を会場に展覧会・美術鑑賞会を行うふれあいミュージアムの開催（H19年度：13回） ○文化課⇄音楽堂、美術館 ・音楽堂や美術館での公演や企画展に併せて、嶺南地域からバスを運行するフレンドリーアート号の運行（年間6回） ○歴史博物館 ・福井県博物館協議会の加盟館リスト付きの博物館マップを作成 ・福井市内の美術館・博物館の案内用に博物館マップを作成 ○美術館 ・機関紙「美術館だより」で県内美術館・博物館や日本まんが共和国各県の県立美術館の展覧会情報を掲載 ○県立の文化施設等 ・ホームページの相互リンク</p>				

論点2 **ふくいの文化財の保存と活用**
2-1 **文化財の評価を高めるための方策**

【資料1】

国宝・重要文化財都道府県別指定件数一覧

1. 国宝・重要文化財

平成20年11月1日 現在

	国 宝										重要文化財												
	美術工芸品							建造物			美術工芸品							建造物					
	絵画	彫刻	工芸	書跡	古書	考古	歴史	計	件数	棟数	計	絵画	彫刻	工芸	書跡	古書	考古	歴史	計	件数	棟数	計	
北海道						1		1			1			1	3	1		12	5	22	25	56	47
青森			2					2			2		2	10			9		21	30	67	51	
岩手	1	1	4	1				7	1	1	8	1	21	17	1	4	3	2	49	23	34	72	
宮城				2			1	3	3	4	6	2	8	13	3	2	8	2	38	19	41	57	
秋田			1					1			1	5	1	3	1		2	1	13	22	47	35	
山形	1		2		1			4	1	1	5	8	11	33	4	7	5	1	69	28	38	97	
福島		1		1				2	1	1	3	4	24	19	1	3	8		59	32	45	91	
茨城			2					2			2	7	14	15			2	1	39	30	39	69	
栃木			4	5	1			10	6	9	16	8	10	56	33	4	7	1	119	31	153	150	
群馬								0			0	5	3	6	3	1	15		33	21	60	54	
埼玉			2	1				3			3	9	10	20	5	2	8		54	24	41	78	
千葉			1	5	2			8			8	7	14	15	46	29	3	2	116	28	51	144	
東京	53	1	92	64	11	14		235	1	1	236	504	185	719	512	106	175	61	2,262	67	99	2,329	
神奈川	6	1	6	4				17	1	1	18	58	73	66	48	30	9	5	289	54	66	343	
新潟						1		1			1	4	17	8	9	3	7		48	33	72	81	
富山								0	1	3	1	5	9	9	1	3	2	1	30	19	50	49	
石川			2					2			2	10	15	24	21	9	5		84	42	73	126	
福井			3	1				4	2	2	6	14	35	9	10	4	3	2	77	25	31	102	
山梨	2		1					3	2	2	5	10	24	7	5		5	1	52	49	89	101	
長野			1			1		2	5	10	7	8	41	19	6	4	10	1	89	82	141	171	
岐阜	1		2		1			4	3	3	7	7	46	26	9	5	5		98	48	87	146	
静岡	1		7	2	1			11			11	45	22	73	27	10	5	1	183	32	94	215	
愛知	1		1	4				6	3	3	9	53	43	74	66	6	3	2	247	76	115	323	
三重				3		1		4			4	19	65	17	26	14	9	4	154	21	35	175	
滋賀	4	4	4	12	8	1		33	22	23	55	99	376	64	42	30	9	5	625	180	228	805	
京都	52	37	15	70	28	3		205	48	60	253	508	404	177	521	299	27	15	1,951	287	578	2,238	
大阪	9	4	23	15	2	3		56	5	8	61	136	108	184	108	27	28	1	592	96	160	688	
兵庫	1	1	2	3		1		8	11	14	19	109	104	63	37	6	45	1	365	102	211	467	
奈良	10	70	35	14	2	8		139	64	71	203	109	492	212	203	51	38	10	1,115	261	374	1,376	
和歌山	9	5	4	9	1	1		29	7	7	36	71	102	72	41	10	6	3	305	76	121	381	
鳥取	1					1		2	1	1	3	3	18	5	1		10		37	15	32	52	
島根			2			1		3	2	2	5	8	21	20	2	8	8		67	23	74	90	
岡山	2		5					7	2	2	9	26	22	49	2	1	10	2	112	55	138	167	
広島	2		9	1				12	7	12	19	13	44	64	12	7	4	2	146	62	112	208	
山口	1		3	2				6	3	3	9	16	19	30	11	12	4	6	98	36	58	134	
徳島								0			0	6	15		2	1	3	1	28	17	37	45	
香川			1	3				4	2	2	6	22	33	18	14	5	1		93	26	37	119	
愛媛			8			1		9	3	3	12	1	15	86	4	1	1	1	109	45	114	154	
高知			1					1	1	1	2	2	50	12	2		1		67	19	46	86	
福岡			5	1	1	5		12			12	15	49	41	14	7	33		159	37	55	196	
佐賀								0			0	2	13	7	1	3	4		30	13	16	43	
長崎								0	3	3	3	4	5	7	2	1	3	4	26	31	43	57	
熊本								0	1	5	1	2	11	5	4	7	5		34	29	76	63	
大分		1	1					2	2	4	4	5	28	9	1	2	2	1	48	29	35	77	
宮崎								0			0		4	1	1		1		7	8	11	15	
鹿児島			1					1			1	1		13		1	2	6	23	10	19	33	
沖縄							1	1			1			3	2	1	2	3	11	20	36	31	
補遺								0			0	5	1	12					18			18	
合計	157	126	252	223	59	43		2,862	214	262	1,076	1,956	2,628	2,415	1,865	726	567	154	10,311	2,337	4,234	12,648	

(注) ①重要文化財の件数は国宝の件数を含む。
 ②建造物の棟数は、計に算入されない。
 ③補遺は、現在所有者の不明のもの、戦後連合国側に提出したまま、返還されないもの。
 ④重要文化財(建造物)「旧筑後川橋梁(筑後川昇開橋)」については、福岡県と佐賀県にまたがるため、両県それぞれで計上している。
 (その為、各県を合計した件数と、合計欄の件数は一致しない)

2. 重要文化的景観・重要伝統的建造物群保存地区

平成20年11月1日 現在

	重要文化的景観	重要伝統的建造物群 保 存 地 区	
	件数	市町村	地区
北海道	1	1	1
青森		2	2
岩手	2	1	1
宮城			
秋田		1	1
山形			
福島		1	1
茨城			
栃木			
群馬		1	1
埼玉		1	1
千葉		1	1
東京都			
神奈川県			
新潟		1	1
富山		2	3
石川		2	3
福井		2	2
山梨		1	1
長野		4	5
岐阜		4	5
静岡			
愛知			
三重		1	1
滋賀	2	3	3
京都		4	7
大阪		1	1
兵庫		3	3
奈良		2	2
和歌山		1	1
鳥取		1	1
島根		1	2
岡山		2	2
広島		2	2
山口		2	4
徳島		2	2
香川		1	1
愛媛	1	1	1
高知		1	1
福岡		3	3
佐賀	1	3	4
長崎		3	4
熊本	1		
大分	1	1	1
宮崎		3	3
鹿児島		3	3
沖縄		2	2
合 計	9	71	83

3. 重要無形文化財・民俗文化財等

平成20年11月1日 現在

	重要無形文化財			民俗文化財		選定保存技術		備考
	保持者(人)			重要有形民俗文化財	重要無形民俗文化財	保持者(人)	保存団体	
	芸能	工芸技術	計					
北海道				4	1			
青森				8	8	1		
岩手				8	7		1	
宮城	1	1			6	1		
秋田				5	14			
山形	1	1		10	4			
福島				6	8		1	
茨城	1	1(1)	2(1)	1	2			
栃木	1	1		1	4		1	
群馬	1	1		3	4			
埼玉		3(1)	3(1)	6	6	2		
千葉				2	5			
東京	40(9)	9	49(9)	8	6	4	8	
神奈川	1	2	3	2	5			
新潟		2(1)	2(1)	17	11			
富山		1	1	3	5			
石川		8(1)	8(1)	14	7	1		
福井		1	1		5	1		
山梨				1	2			
長野				7	7		1	
岐阜		1(1)	1(1)	14	9			
静岡				1	8	1		
愛知				5	11	1		
三重		(1)	(1)	1	8			
滋賀	1		1		3	1	1	
京都	3	11	14	3	9	20	8	
大阪	2(1)	1	3(1)	3	2	2		
兵庫	4	1	5	7	5	2		
奈良	1	1	2	4	6	9	1	
和歌山				1	5			
鳥取				1	2			
島根		(1)	(1)	10	7	2		
岡山	1	1		1	3			
広島				7	4			
山口	1	1		10	3			
徳島				7	2		1	
香川		2	2	9	2			
愛媛				1	1			
高知		1	1	4	2	1	1	
福岡		1(1)	1(1)	1	8			
佐賀		4(2)	4(2)	2	5			
長崎					5			
熊本					2			
大分		(1)	(1)	4	6	1		
宮崎				3	5			
鹿児島					7			
沖縄	4(1)	3(3)	7(4)		9	3	2	
2府県				1	1			
合計	57(11)	59(14)	116(25)	206	257	53	26	

(注) ① () は、総合認定保持者の団体又は保持団体を示す。

② 2府県にまたがるもの 重要有形民俗文化財…「生駒十三峠の十三塚」(奈良・大阪)
重要無形民俗文化財…「室根神社のマツリバ行事」(岩手・宮城)

4. 史跡名勝天然記念物

平成20年11月1日 現在

	特別史跡名勝天然記念物							計	史跡名勝天然記念物										計				
	特別史跡			特別名勝			特別天然記念物		史跡			名勝			天然記念物								
	史跡	史名	史天	名勝	名史	名天			史跡	史名	史天	名勝	名史	名天	天然	天史	天名						
北海道	1						5	6	50			2			32						84		
青森	1						1	2	19			5		1	6						31		
岩手	3			1			4	8	28			7		2	30						67		
宮城	1			1			1	3	33	1		4			26						64		
秋田	1						1	2	11			4			13						28		
山形							2	2	23			5	1		13						42		
福島								0	41	2		2			24						69		
茨城	3							3	26	1		1			6						34		
栃木	1		1				1	3	34		1	2			6						43		
群馬	3						1	4	44			4		1	16		1				66		
埼玉							3	3	18					1	9						28		
千葉							1	1	26			1			13						40		
東京	1	1		1	1		1	5	41	1		5	2		13	1					63		
神奈川								0	52			3	2		6						63		
新潟								0	28			4		3	24		1				60		
富山						1	3	4	17					2	12						31		
石川				1			1	2	22			6		1	13						42		
福井	1			1				2	23			13			7		1				44		
山梨				1			1	2	12			4			30						46		
長野	1					1	1	3	33			4		1	21						59		
岐阜							3	3	21			2		2	35						60		
静岡	3						2	5	40			6	1	1	28		1				77		
愛知	1							1	35			1		3	20		1				60		
三重	1							1	33			6	1		18		1				59		
滋賀	2						1	3	40			17	4		13						74		
京都		3		11				14	65	15		32	8		9		1				130		
大阪	2							2	66			4			5						75		
兵庫	1							1	44			7		1	16						68		
奈良	9	1					1	11	110	3		7	2		18						140		
和歌山	1							1	22			6		1	15						44		
鳥取	1						1	2	31			4	1	1	11						48		
島根							1	1	48	3		5		6	21		1				84		
岡山	1			1				2	46			12			13						71		
広島	1	1		1				3	22	1		8			13						44		
山口							3	3	37	1	1	6		4	38		1				88		
徳島							1	1	7			3			15						25		
香川	1			1			1	3	17		1	3		1	9						31		
愛媛							1	1	11			10			11						32		
高知							2	2	9			3			14	1					27		
福岡	4						2	6	79			5			23						107		
佐賀	2			1				3	21			2			10						33		
長崎	2			1				3	27			4			30						61		
熊本	1						1	2	33			4	1	1	14		1				54		
大分	1							1	37			1			16						54		
宮崎	1						3	4	22			3		1	36						62		
鹿児島							6	6	23			5			20	1					49		
沖縄				1				1	31	1		6		1	24						63		
二府県 定めず	1			3			2	6	15			2		3	15						35		
小計	53	6	1	26	1	2	72	161							96						96		
合計	60						29		72	161	1,573	29	3	250	23	38	926	3	10			2,855	
	60						29				1,605			311			939						

(注) 史跡名勝天然記念物の件数は、特別史跡名勝天然記念物を含む。

5. 登録文化財

平成20年11月1日 現在

	登録有形文化財								登録有形民俗 文化財	登録記念物				
	建造物	美術工芸品								遺跡	名勝地	動物植物 地質鉱物	計	
		絵画	彫刻	工芸	書跡	古書	考古	歴史						計
北海道	94										1		1	
青森	78										3		3	
岩手	72								1					
宮城	70							1	1					
秋田	145											1	1	
山形	101													
福島	106								2					
茨城	227													
栃木	176										2		2	
群馬	263								1					
埼玉	122						1	1	1					
千葉	112										1		1	
東京	232													
神奈川	136										3	1	4	
新潟	305													
富山	77						1	1		1			1	
石川	176										1		1	
福井	62								1		2		2	
山梨	57								1					
長野	335										4		4	
岐阜	165						1	1						
静岡	123													
愛知	308													
三重	69													
滋賀	253													
京都	318			1				1	2		1		1	
大阪	493											1	1	
兵庫	367										4		4	
奈良	130				1			1	2					
和歌山	133													
鳥取	127										1		1	
島根	84								1		1		1	
岡山	166								1					
広島	83													
山口	60										1		1	
徳島	65													
香川	302													
愛媛	86										1		1	
高知	252													
福岡	59										1		1	
佐賀	68			1				1						
長崎	73										2		2	
熊本	102										1	1	2	
大分	148										3		3	
宮崎	55													
鹿児島	74										2		2	
沖縄	70								1		1		1	
合計	7,179	0	0	2	1	0	2	4	9	10	2	35	3	40

(注) ①登録記念物(名勝地)「白水の滝」については、大分県と熊本県にまたがるため、両県それぞれで計上している。
(その為、各県を合計した件数と、合計欄の件数は一致しない)

【資料2】福井県内の国指定・県指定等文化財

20年11月1日現在(件)

区 分		国指定		国選定	国選択	国登録	県指定	備考
		国宝 特 別	重 文 国指定					
有 形 文化財	建造物	2	23			62	24	
	絵 画		14				48	
	彫 刻		35				68	
	工芸品	3	7				17	
	書跡・典籍・古文書	1	13				16	
	考古資料		3				11	
	歴史資料		2				5	
	計	6	97			62	189	
無 形 文化財	芸 能							
	工芸技術		1				3	
	計		1				3	
民 俗 文化財	有形民俗文化財					1	9	
	無形民俗文化財		5		9		58	
	計		5		9	1	67	
史跡・名勝 天然記念物	史 跡	1	23				29	
	名 勝	1	12			2	4	
	天然記念物	4	16				31	
	名勝天然記念物		1					
	計	6	52			2	64	
重要伝統的建造物群保存地区				2				
選定保存技術				1				
合 計		12	155	3	9	65	323	
		167						

【資料3】北陸3県における近年の文化財指定状況

		平成10年	平成15年	平成20年
福 井 県	有形文化財	97	98	103
	無形文化財	0	1	1
	民俗文化財	4	4	5
	史跡・名勝・天然記念物	56	57	58
	選定保存技術	1	1	1
	選択無形民俗	6	6	9
	重要伝統的建造物群保存地区	1	1	2
	合 計	165	168	179
石 川 県	有形文化財	117	118	124
	無形文化財	4	7	9
	民俗文化財	18	20	21
	史跡・名勝・天然記念物	38	43	46
	選定保存技術	1	1	1
	選択無形民俗	9	9	10
	重要伝統的建造物群保存地区	0	0	3
	合 計	187	187	214
富 山 県	有形文化財	44	44	47
	無形文化財	0	0	1
	民俗文化財	6	6	8
	史跡・名勝・天然記念物	37	37	40
	選定保存技術	0	0	0
	選択無形民俗	6	6	6
	重要伝統的建造物群保存地区	2	2	3
	合 計	95	95	105

年度	県	指定物件名称	種別
平成15年度	福井	・三国港（旧阪井港）突堤 ・木造泰澄及二行者坐像 ・和久里壬生狂言	建造物 彫刻 国選択無形民俗
	石川	・志摩 1棟 ・上時国家住宅 3棟 ・万行遺跡 ・絹本著色白山三社神像	建造物 建造物 史跡 絵画
	富山	・真川の跡津川断層	天然記念物
平成16年度	福井	・糸崎の仏舞	重要無形民俗
	石川	・彫金 中川衛 ※万行遺跡 ※九谷磁器釜跡	無形文化財 史跡 史跡
平成17年度	福井	・粟田部の蓬莱祀 ※松岡古墳群	国選択無形民俗 史跡
	石川	・加賀市加賀橋立伝統的建造物群保存地区	重伝建
	富山	・鑄金（大澤幸勝） ※王経・千坊山遺跡跡群	無形文化財 史跡
平成18年度	石川	・髹漆 小森邦博（邦衛） ※東大寺領横江荘遺跡	無形文化財 史跡
	富山	・上市黒川遺跡群（円念寺山経塚黒川上山墓跡 伝真興寺跡）	史跡
平成19年度	福井	・福井県一乗谷朝倉氏遺跡出土品 ・免鳥長山古墳 ・賀茂神社のオイケモノ ※柴田氏庭園	考古 史跡 国選択無形民俗 名勝
	石川	・木造獅子頭 1面 ・大聖寺のゴンガン ・能登の揚浜式製塩技術	彫刻 国選択無形民俗 重要無形民俗
平成20年度	福井	・大安寺 5棟 ・西福寺 3棟 ・小浜西組伝統的建造物群保存地区	建造物 建造物 重伝建
	石川	・金沢城土蔵（鶴丸倉庫） ・石川県雨の宮一号墳出土品 ・金沢城跡 ・珠洲陶器窯跡 ・金沢市主計町伝統的建造物群保存地区	建造物 考古 史跡 史跡 重伝建

※は、追加指定